

特定非営利活動法人 さーくる横須賀



なんでも福祉相談室「伴歩」(ばんぽ)

& シェアハウス「ヒーローズ」

2022年度【実践活動報告】

2023年6月12日(月)

「生きづらい、生きにくい人」または「ホームレス、ネットカフェ生活者、生活困窮者」などで困っているけれども行政や民間の支援でも行き届かず、お一人ではどうすることもできない時に、制度の「狭間」「隙間」「網間」「谷間」「対象外」(セーフティネットの穴)を塞ぐ一時的・緊急的な「お手伝い」(バンポ・エイド大判)の役割を担っているボランティア団体です。

① 利用者 (2023年3月31日現在)

ヒーローズ関係： 新規 21名 + 前年度継続 6名 = 27名

伴歩関係： 新規 25名 + 前年度継続 4名 = 29名

合計 新規 46名 + 昨年度継続 10名 = 56名

*ヒーローズ「シェアハウス」2022年度：7名 + 2021年度：7名 = 合計 14名卒業者

*1年間で、【ヒーローズ関係 A・B】 + 【伴歩関係 A・B】では「利用者」(対面、電話、訪問あり)

《人数》

【ヒーローズ関係】 2022年度 27名 (継続者含む)。2年間で31名と関わった。

年度	新規 (A)	前年度から (B)	終了 (C)	次年度へ継続 (D) = (A) + (B) - (C)
2021年度	10名	—	4名	6名
2022年度	21名	6名	8名	19名
2023年度	—	19名	—	—
合計	31名			

【伴歩関係】 2022年度29名（継続者含む）。2年間で33名と関わった。

年度	新規（A）	前年度から（B）	終了（C）	次年度へ継続 （D）=（A）+（B）-（C）
2021年度	8名	—	4名	4名
2022年度	25名	4名	24名	5名
2023年度	—	5名	—	—
合計	33名			

*「伴歩」型支援の基本は、関わり続けて（アフターフォローの継続）していく。

*終了とは、ご逝去、連絡が途絶える、関わりを必要としない、他の施設などに移った場合。

② 「正会員（サポーター・スタッフ）制度」の見直しサポーターを導入

正会員28名（サポーター20名、スタッフ8名：3名休会中）（2023年3月31日現在）

③ 賛助寄付金者：延べ30名、新品/中古家電製品など寄付者：延べ10名、フードバンクかながわ（食料品授受契約済）年間7回

④ 補助金3ヶ所取得と生活保護の住宅扶助費分納入の決定（契約書作成）

⑤ 総会開催（6月4日、正会員5名参加）：「情報漏洩問題」の報告

⑥ 実践活動報告会開催（6月4日、賛助寄付者6名+正会員5名=11名参加）

⑦ 理事会（5回）、全体ミーティング（13回）、ヒーローズミーティング（12回）、伴歩ミーティング5回 開催

⑧ 正会員及び市民向けの学習会の開催

11月「性的マイノリティーを理解する」（9名）、2月「差別と排除について理解する」（7名）

⑨ 広報誌「つなGOOD！」第5号～第8号の4回発行（700枚～1,000枚）約170ヶ所配布

⑩ 「実践活動説明」（広報宣伝）：10回実施

⑪ 「横須賀の生活困窮者支援を学び考える会」主催：5月、8月、11月、2月の年4回開催

*2月にゲストとして横須賀市役所生活支援課係長2名と地域福祉課係長1名が参加

⑫ 「アジフライ忘年会」開催（12月）：ヒーローズ卒業者4名+スタッフ3名参加

⑬ 「看護・福祉相談ブース」開設（9月より）：毎月第4日曜18時～19時開設（計7回）

⑭ なんでも福祉相談「伴歩」in カフェグレース開設：毎月第1火曜、第3日曜：12時～16時
（計22回）

⑮ 「昼回り・夜回り巡回相談」：第2月曜9時～11時、第4水曜21時～23時（計24回）

⑯ 正会員共通認識確認事項を取り入れた「正会員入会届」に改正

⑰ 賛助寄付金用に「払込取扱票」を導入

⑱ 「緊急一時給付金基金」（要綱）を創設（原資はカンパ金）

⑲ 「ホームページ開設」（2023年1月10日）<https://sa-kuru-yokosuka.com>

⑳ 「A団体」から利用者を差別・排除する文章をもらったので、横須賀市に相談して要望書を提出して回答をもらったことを正会員（サポーター・スタッフ）に「便り（頼り）」にて報告

㉑ 仮称「セカンド・ヒーローズ」開設のために、話し合い、補助金の申請、物件探しを行ったが、今年度はマッチングする物件、費用、対応する体制が取れなかったため来年度に持ち越し

など 以上